

5・28 防災訓練 災害は忘れたころにやってくる

5月28日(日)、9:00～、参加人数624人(前年688人)、参加世帯68%(前年71%)、OKプレート500(前年521)

晴天に恵まれ暑い中でしたが、意外と参加は前年を下回りました・・・
「危機意識が薄れたのでしょうか？」

「OKプレートを吊るして、班長さん宅前に集合、班会議」という流れはできてきましたが、

せっかくですから、もっと班会議でゆっくりお話しがなされたらよかったのに、という班もありました。

(右班会議)



6・10 スタンドパイプ訓練 一回ではなかなか憶えられない

6月10日(土)、9:45～11:00、駅前通り(1-23-24付近)で55人が参加、子供さん3人、2丁目から6人、4丁目から2人の参加もありました。過去最高の参加ではなかったでしょうか。

炎天下熱心にご参加いただき、ご苦労様でした。初めて訓練に参加された方も多かったように思います。「SPはどこに置いてあるの、鍵はあるの?」、「消防車はすぐ来てくれるのに、なんでこんな訓練をするの?」といった素朴なご質問もありました。

「消火栓の蓋をあけて、SPをセットして、ホースを伸ばし、放水銃をセットして、放水始め! 放水止め!」の一連の手順も一回やっただけではなかなか憶えられるものではありません。終ごろになって、消防隊に「緊急出動指令」が入り、本番さながらの訓練でもありました。

これからも、みんなが「体で憶えることの訓練」の積み重ねが大事ですね。

